

# 言語景観～情報保障

## I. 言語景観について

**文献01:** Backhaus, P. (2007). *Linguistic Landscapes: A Comparative Study of Urban Multilingualism in Tokyo*. Multilingual Matters.

- (1) Official language policies aiming at an 'Internationalization' of Tokyo;
- (2) a growing share of non-japanese residents in some parts of the city;
- (3) favorable attitudes towards the visibility of foreign languages, particularly English, on the part of the Japanese host population.

**文献02:** 庄司博史, P・バックハウス, F・クルマス [編著] (2009). 『日本の言語景観』 三元社.

- 言語景観を多言語化する社会の1つの指標と見なす
- ホスト社会が少数言語の存在に対しいかなる態度を採るか
- 経済原理に基づく言語選択、基づかない言語選択
- 行政諸機関の表示用言語に関する指針

**文献03:** 内山純蔵 [監修] 中井精一, ダニエル・ロング [編] (2011). 『世界の言語景観 日本の言語景観—景色のなかのことは』 桂書房.

- 各地でのフィールドワークの成果
- 「言語景観を造るということはその強い意志や覚悟、計画性がある」

**文献04:** 山川和彦 [編] (2020). 『観光言語を考える』 くろしお出版.

- 移民言語と観光言語
- 観光言語……観光客のための言語政策という観点から
- 観光客の言語権

## II. 言語景観から情報保障へ

**文献05:** 河原俊昭, 野山広 [編著] (2007). 『外国人住民への言語サービス: 地域社会・自治体は多言語社会をどう迎える』 明石書店.

**文献06:** 広瀬浩二郎, 嶺重慎(2012). 『さわっておどろく!: 点字・点図がひらく世界』 (岩波ジュニア新書, 713) 岩波書店.

- 「触常者」「見常者」
- 「触常者にとっての言語景観」に関する、さらに突っ込んだ資料はないだろうか？

## III. 情報保障・言語権の入門

**文献07:** 咲間まり子 [監修] (2020). 『保育者のための外国人保護者支援の本』 かもがわ出版.

※ 学生に読ませるのによいかも

## IV. 主な文献の目次

### 文献02:

庄司博史, P・バックハウス, F・クルマス [編著] (2009). 『日本の言語景観』 三元社.

序文	日本の言語景観——西欧化、国際化、そして多民族化 (編者)	009
第1章	多言語化と言語景観——言語景観からなにがみえるか (庄司博史)	017
1	はじめに	017
2	多言語化の論点	019
2.1	接触の形態	
2.2	流動性	
2.3	多言語状況の力関係	
2.4	認識・受容	
2.5	多民族性とのかかわり	
2.6	多言語使用、多言語能力とのかかわり	
3	多言語表示事例の検討	026
4	多言語化と多言語景観とのかかわりについての理論的考察	032
4.1	多言語景観の一部としての多民族化	
4.2	多言語表示にみられる日本社会の多言語化	
4.3	領域表示としての多言語景観	
4.4	外国語表示の受けとめ方	
5	まとめ	040
第2章	経済言語学からみた言語景観——過去と現在 (井上史雄)	053
1	日本の言語景観の歴史的背景	053
1.1	理論的前提	
1.2	日本の言語景観の多様性	
1.3	看板の文字の歴史 (漢字・かなの使用)	
1.4	文字使用の近代史 (カタカナからアルファベットへ)	
2	現代日本の言語景観	056
2.1	看板の文字使用の変化 (東京新宿のカタカナの増減)	
2.2	現代看板の文字使用 (東京と山形のアルファベット進出)	
2.3	アルファベットの浸透と表記相対化	
3	外来語・外国語の浸透	062
3.1	看板の多言語使用の増加 (東京新宿の英語志向)	
3.2	デパートの多言語使用の増加 (東京のアジア志向)	
3.3	山手線駅前の多言語看板	
4	言語景観の政治・経済・地理	071
4.1	自治体の多言語サービス (関東地方)	
4.2	言語景観と言語サービス	
4.3	言語景観と言語権	
4.4	言語景観の地理的分布パターンと変化	
4.5	言語景観の保留・限界	
4.6	言語景観と経済原理	
5	おわりに：言語景観研究の展望	076
第3章	言語景観と公共圏の起源 (フロリアン・クルマス)	079
1	はじめに	079
2	言語景観の諸要素	081
2.1	ハムラビ法典	
2.2	ロゼッタ・ストーン	
2.3	メネテケル	
2.4	タージ・マハル	
2.5	場所の移動	
3	まとめ	092
第4章	言語景観の中の看板表記とその地域差——小田急線沿線の実態調査報告 (染谷裕子)	095
1	はじめに	095
2	調査方法と主な結果	097
2.1	調査方法について	
2.2	採用率の高い文字種の比較	
2.3	文字種の組み合わせ	
3	それぞれの文字種の働き	104
3.1	日本語表記の慣用と看板表記	
3.2	漢字による店名表記	
3.3	ひらがなによる店名表記	
3.4	カタカナによる店名表記	
3.5	アルファベットによる店名表記	
3.6	二重表記	
4	新百合ヶ丘と生田	115
5	おわりに	119

第5章	地下鉄案内板にみるローマ字表記——東京における1999年の実態 (佐渡島紗織+小林良子+齋藤眞美)	123
1	はじめに	123
2	先行研究	125
3	調査方法	127
	3.1 調査対象とした地下鉄路線	
	3.2 調査対象とした案内板	
	3.3 調査手順	
4	調査結果	129
	4.1 案内板におけるローマ字表記	
	4.2 案内板におけるローマ字表記法の幅とその問題点	
5	おわりに	143
第6章	日本の言語景観の行政的背景——東京を事例として (ペート・バックハウス)	145
1	はじめに	145
2	公的表示の作成に関する文書	146
	2.1 『東京都公的サインマニュアル (案)』 (1991)	
	2.2 『品川区街のサイン基本マニュアル』 (1994)	
	2.3 『旅客案内標識：設置マニュアル』 (1997)	
	2.4 『ひと目で分かるシンボルサイン—標準案内用図記号ガイドブック』 (2001)	
	2.5 『公共交通機関旅客施設のサインシステムガイドブック』 (2002)	
	2.6 『外国人にもわかりやすいまちの表記に関するガイド』 (2003)	
3	東京の言語景観に関わる具体的施策	156
	3.1 都による言語景観づくり	
	3.2 23区による言語景観づくり	
4	まとめ	165
	4.1 ローマ字と英語	
	4.2 中国語と韓国・朝鮮語	
	4.3 やさしい日本語	
	4.4 案内用図記号 (ピクトグラム)	
	4.5 終わりに	
第7章	視覚障害者にとっての言語景観——東京山手線の点字調査から (山城完治)	171
1	はじめに	171
2	視覚障害とは	171
3	歩行・移動の不自由	172
4	視覚障害者の移動する際の補助情報について	174
5	JR山手線各駅手すりの点字表示調査について	178
	5.1 鉄道駅における視覚障害者のための補助情報	
	5.2 調査のきっかけと目的	
	5.3 調査方法	
	5.4 調査結果	
	5.5 結果の公表とその後	
6	おわりに	184
第8章	言語景観における移民言語のあらわれかた——コリアンコミュニティの言語変容を事例に (金美善)	187
1	はじめに	187
2	コリアン集住地域の言語景観	188
	2.1 東京都新宿区	
	2.2 大阪市生野区	
3	韓国語・ハングル景観に影響を及ぼす要因—言語コミュニティと社会的現象	191
	3.1 在日コリアンコミュニティの言語的影響	
	3.2 グローバル化	
4	文字間における言語接触現象	200
	4.1 言語と文字の錯綜：かな表記韓国語	
	4.2 両言語の音韻体系と表記手段の錯綜：変形カナ	
5	まとめ	203

## 文献04:

山川和彦 [編] (2020). 『観光言語を考える』くろしお出版.

日本の観光と多言語対応 ポール・ハガート (聞き手：山川和彦)

### 第1部 観光現場の言語に何が起きているのか

第1章 言語景観とは何か —まちにあふれる言語— 山川和彦・藤井久美子

第2章 観光地における言語対応 —まちなかの取り組み— 藤田玲子・本田量久

コラム① 山と山旅のことば 橋内武

第3章 観光接触場面における日本語 —人気旅館からの考察— 加藤好崇

第4章 タイ英語学習のすすめ —観光コミュニケーションの考え方— 渡辺幸倫・宮本節子

第5章 観光と地域変容 —ニセコ観光圏の事例— 山川和彦  
コラム② 奄美大島の観光と言語 橋内武

第2部 観光を深化させる言語政策

- 第6章 観光政策と言語 山川和彦  
第7章 外国語ガイドをとりまく現状と課題 田中直子・藤田玲子・森越京子  
第8章 1964年東京オリンピックの言語政策遺産 藤井久美子  
コラム③ ピクトグラムと文字情報 橋内武  
第9章 観光と言語のバリアフリー あべやすし  
第10章 海外における観光教育と言語 高民定・藤井久美子・山川和彦  
コラム④ 学生の地域活動と観光 村田和代

第3部 観光言語の将来

- 第11章 観光資源としての言語 —奄美から「戦争の記憶」まで— 橋内武 (聞き手: 山川和彦)  
第12章 観光言語学は成り立つのか —移民言語から観光言語へ— 庄司博史 (聞き手: 藤井久美子・山川和彦)

**文献07:**

咲間まり子 [監修] (2020). 『保育者のための外国人保護者支援の本』 かもがわ出版.

- 第1章 日本の多文化化とこれからの外国人保護者支援  
地域の特性をいかし、地域と連携して外国人保護者支援を 咲間まり子  
第2章 外国人保護者支援と「ことば」  
マンガ子育てのことば——児童館から見たこと 西方郁子  
インタビュー どちらも大切な母語と日本語——子どものアイデンティティを育てる 中島和子  
外国人保護者に「日本語でつたえるコツ」 大阪ボランティア協会元「日本語でつたえるコツ」広げる委員会  
第3章 外国人保護者支援の実際  
伝わるまでのプロセスも楽しむ気持ちで 横浜市北上飯田保育園  
「一人ひとりによりそう」基本は同じ つくば市桜南幼稚園  
イスラムの子もいっしょに食べる献立 さいたま市そよかせ保育室  
大切な「小学校との連携」 小島祥子  
column 日本の学校生活と橋渡しをしよう 出口雅子  
第4章 園の多文化化のために知っておきたいこと  
日本に暮らす外国人とはどんな人々? 品川ひろみ  
多文化保育のために園ができること——保育者のエピソードから 中野明子  
これからの多文化保育に必要な視点 堀田正央  
第5章 コミュニケーションのためのリソース  
コミュニケーションのツールとしての『幼稚園・保育園ガイドブック』 西山幸子  
Webサイト「連絡帳を書こう!」を作ったわけ 内海由美子  
column 外国人保護者が感じていること  
いますぐ使える翻訳ツール 若林秀樹  
1冊の絵本を世界のいろいろな言語で 石原弘子